

## 何でも有りの中国経済の腕力

平成21年10月吉日 岩本 博之

30年前の世界粗鋼生産量6億トンが現在は13億トン。内中国は世界シェア4割弱の5億トン。携帯電話の世界シェア5割の5.6億台。テレビは4割強の9000万台。自動車の世界生産は7300万台から昨年9月のサブプライム問題が引き金となった金融危機の影響で6000万台弱に落ち込む中、中国だけが昨年比30%強の増産で1300万台の世界一生産、シェア2割。文明の発祥の地、揚子江(長江)上流は自然破壊や気候さえも変える世界最大の水力発電、三峡プロジェクト(原子力発電13基分)が15年の年月を掛けて完成間近です。経済発展をする最大の武器「スピード」、を遺憾なく発揮！社会インフラ整備に最も重要な高速道路網は、日本が地権者の調整も含め20~30年掛かるところを1/10の期間で建設。タイミング良く10年世界万博開催、更にCO2削減にも寄与する鉄道網の整備には突発的な輸出需要の停滞をカバーするかのごとく、国内需要の喚起と相俟って凄まじい新資本主義経済を推進しています。特許(ブランドも含め)や安全・品質を無視し、現時点では蛇蝎のように闊歩する様は、消費者におもねる過剰? 「品質至上主義」の我々が間違っているのでは、と錯覚さえ起こしかねません。

世界初の「青いバラ」(サントリー製)などと浮かれている場合ではない(私は楽しいですが)?! 原子爆弾は世界に2万発、アメリカ保有は1万発強、ロシア8000発?? これらを1000発に削減しましょう、と発言しただけでノーベル平和賞。不遜ですが製造原価に興味有り300億円/1本と推察します。馬鹿げた考察ですが、視点を変えた考え方で正常な発見が有るのではないのでしょうか。世界のGDP5000兆円、軍事費100兆円。アメリカ1300兆円&35兆円。日本500兆円&5兆円。戦費で飢餓にさらされている子供や難民が救われるのですが。

儒教の精神を中国より教わり、それをベースとして発展・浸透させるのは製造業分野も含め日本の特技です。今また中国の良い所を吸収し共存共栄の謙虚な姿勢で学びたいものです。今の日本は熟したタワワな柿が落ちようとしている感じがします。「奇跡のりんご」ではないですが、原点に戻って土の入れ替えや化学肥料を与えない、人間の有機栽培が必要とされているように思います。

1922年 天才アインシュタインの予言

「世界を混沌から救う道へといざなう役割を担うのは日本人しかない」

### 11月

### 12月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
29	30						27	28	29	30	31	1	2

## H21年度 下期 10月~3月5Sスローガン発表

明るい挨拶 進んで行動  
笑顔の職場は5Sから  
新田麻亜紗

5Sの道は endless  
焦らずコツコツ一歩ずつ  
若林寛士



## 鉄工機電協会様主催 永年勤続表彰参加

20年 印野敏弘さん  
10年 川端信親さん  
10年 的場正俊さん  
10年 北川雄一さん

おめでとうございます。  
後輩の指導をお願いします。

## ISO 更新審査を終えて

品質保証部 鎌田 透

当社のISOは1998年にISO9001、2000年からISO14001を認証取得し11年継続しています。今回は2日半でムデー・インターナショナル・サーティフィケーション様の更新審査を受け、要求事項に従い決められた事がキチッと守られているかを審査されました。以前からみると書類審査よりも現場中心の審査となり、目的・目標に対する未達項目が一部不完全であり、又監視及び測定においては測定具の保管状況が指摘されました。良い点として不適合品報告書が作業場近くに置かれ、確認しやすく、また作業前の指導教材として活用されている事、不良低減による環境負荷の低減、白山市のクリーン作戦に積極的参加、徹底的分別回収、省エネ設備の導入、緊急時の消火訓練等を評価されました。今後は指摘事項の改善を行い、ムリ・ムダ・ムラをなくし環境品質マネジメントシステムを経営のツールとして益々活用していきたい。

## ~講習会に参加して~

第2係 的場 正俊

9月18日、白山市民交流センター5階で小松先生の「心の健康VOL2」、松任消防署の「救急講習」の研修が行なわれました。小松先生は2回目ということでロールプレイを中心に聴き手に必要なキーワードの探し方などの練習でした。一番のポイントが聴き手は平常心を保てる状態でないと自分も心の病にかかる可能性があるということでした。午後からは命のリレーをつなぐ第一歩、救急連絡の方法と心肺蘇生法の重要性のビデオを見た後、実技で要救助者の発見から意識の確認、応援要請(かなり重要)、心肺蘇生法と一連の救助方法を、その後AEDの使用法の練習を行ないました。心臓マッサージでは初め力の入れ具合が解らなかったのですがやってみると意外と強く押さなければならず大変でした。AEDは電源を入れると音声で指示を出してくれるため操作は簡単なので、今回体験したことにより躊躇による時間のロスが無くなり蘇生率により影響が出そうです。大変良い体験になりました。